

令和4年度 今治市野間馬ハイランド指定管理者モニタリング結果

| | |
|-----------------|--|
| 施設名 | 今治市野間馬ハイランド |
| 所在地 | 今治市野間甲 8 番地 |
| 指定管理者 | <p>名 称 野間馬保存会</p> <p>代表者 会長 大澤 譲児</p> <p>住 所 今治市阿方甲246番地 1</p> |
| モニタリングの実施方針・方法等 | <p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p> |
| 担当部課 (問合せ先) | <p>総合政策部 交流振興局 観光課</p> <p>TEL : 0898-36-1541</p> <p>E-mail : kankou@imabari-city.jp</p> |

評価内容

| 課題 | 指定管理者自己評価 | | 市による評価 | |
|------|-----------|--|--------|--|
| 総則 | A | 施設の設置目的や管理運営の基本方針を十分理解して、指定管理者業務を実施した。 | A | 適正に業務が実施されており、平等な利用の確保や施設の設置目的に沿った管理運営がなされている。 |
| 利用状況 | B | 利用者の減少はGW等、繁忙期に新型コロナウイルス感染拡大防止の為、乗馬とモルモットの触れ合いを休止したことが大きかった。しかし、コロナ禍でも屋外の施設であり、コロナ禍3年目ということで、一年を通して利用者はいた。特に1月2月の河津桜の時期は多くの利用者で賑わったが、年間では昨年の利用者数の約84%にとどまった。 | B | <p>コロナ禍において当施設は密を避けられる屋外ではあるが、集客よりも感染拡大の防止を優先として、主要事業である乗馬を休止したことは、指定管理者としての管理運営について評価できる。</p> <p>今後は乗馬以外にも集客できる事業の開発に努めていただきたい。</p> |

| 課題 | 指定管理者自己評価 | | 市による評価 | |
|--------|-----------|---|--------|---|
| 事業収支 | A | <p>野間馬保存会の経理に関しては、越智今治農業組合乃万営農センター長が担当しており、会計帳簿の整理や会計伝票の作成、印鑑の管理などを適切に行った。また、収支計画に基づいて予算執行を行ったが、燃料費や飼料代等の物価高騰により、予算を大幅に上回る執行となったが、今治市からの補助金によって対応することができた。</p> | A | <p>令和4年度は燃料代や飼料代が高騰したため、補助金を支出して業務継続を支援した。各団体等との連携に取り組み、収入増に努めていることは評価できる。燃料代や飼料代は高止まりが続くことが想定されるため、野間馬の飼育を第一に考え、これまで以上に経費削減に努め、計画的に修繕業務を実施するなどの予算執行に努めていただきたい。</p> |
| 管理運営体制 | A | <p>維持管理職員・利用管理職員・飼育管理職員は、臨機応変に適宜、職務を分担させ、人的資源を効率的かつ効果的に配置させることで、維持管理業務について一定水準の取り組みを行うことができた。外部研修は今年不参加となったが、ZOOMで飼養管理の講習会があり、有益な情報を得ることができた。また、内部では削蹄の技術研修を実施した。</p> | B | <p>業務の運営に支障の無いようローテーションが組まれているとともに、障がい者雇用の前向きな取組などは評価できる。しかし、昨年より職員数が減少していることが、職員の負担増になっていないか心配であるため、職員の補充に努めていただきたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修内容に制限がある中、内部研修の実施やZOOM講習を受講するなど、研修体制についても評価できる。</p> |
| 管理業務 | A | <p>管理業務については業務基準に則り、業務を実施している。特に植栽管理及び清掃管理業務については、職員全員で積極的に取り組んでおり、管理運営の基本方針にあるとおり、清潔感のある人の目が行き届いた公園の管理が実践できた。</p> | A | <p>職員一丸となって公園を管理しており、いつも手入れが行き届いていることは高く評価できる。</p> <p>コロナ禍において、当施設は公園利用としても利用者が増えてきている印象があることから、来園者にとって憩いの場となるよう、今後も公園管理を徹底していただきたい。</p> |
| 利用業務 | B | <p>コロナも3年目となり、遠足などの団体利用が少しずつ戻ってきたようではあるが、土日祝日の利用者は予想より少なかった。誘客のため、無料の観光雑誌に情報掲載、撮影や取材対応、ホームページの更新頻度を増やすなど、野間馬ハイランドを紹介するように努めた。</p> | B | <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ちびっこのまうま祭りを開催できなかったのは残念であるが、無料広告への掲載やメディア等への取材対応を積極的に受け入れるとともに、ホームページ更新の頻度を増やすことで、野間馬ハイランドのPRに努めたことは評価できる。</p> <p>今後も、ホームページの更新については回数をさらに増やし、SNSを積極的に活用するなど、今後も施設のPRを図っていただきたい。</p> |

| 課題 | 指定管理者自己評価 | | 市による評価 | |
|--------|-----------|---|--------|---|
| 飼育管理業務 | A | <p>鹿児島大学や岡山理科大学獣医学部に指導をいただきながら健康管理を行い、JRAにも協力していただき、繁殖の調査を始めた。馬にストレスが少なく健康に生活できる環境を考えて、飼育・繁殖に取り組み、適正頭数を維持した。</p> <p>利活用については、乗馬できる馬が高齢になり体力がなくなった為、午前午後とも先着50名様までと人数制限して乗馬を再開した。</p> | A | <p>市指定文化財である野間馬の頭数維持のため、専門機関と連携した健康管理などの各取組に対する体制が出来つつある。</p> <p>今後も、計画的な繁殖や利活用馬の調教などの課題に対して、種の保存と利活用のバランスを考慮しつつ、専門機関の知見を取り入れることにより、解決できる体制の構築を図っていただきたい。</p> |
| その他業務 | A | <p>コロナ禍で9月まで乗馬、モルモットとの触れ合いを休止した。10月以降の再開の際に、乗馬できる馬が高齢になり体力がなくなったため、午前午後とも先着50名様までと人数制限をすることにした。</p> <p>また、感染対策のため、乗馬やモルモットとの触れ合いの前に、手指消毒や乗馬時の防具（ヘルメット・ベスト）の消毒をして従来どおり実施した。</p> <p>まきば館においても入館時には、マスク着用・消毒・体温測定の徹底を図り感染防止対策に努めた。</p> | A | <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組により、当施設が安心・安全に運営できたことは高く評価できる。</p> <p>今後も感染状況に注視しながら、施設の適切な運営に努めていただきたい。</p> |
| 修繕業務 | A | <p>施設の安全確保及び老朽化での修繕や部品の交換を実施した。また、コロナ感染拡大防止のため開催できなかったイベントの予算で、長年の懸案事項であった、触れ合い広場（小動物小屋）周辺の土間の修繕を行うことができた。</p> | A | <p>当施設は老朽化が進んでいる部分が多くなってきているが、執行不要となった予算を活用し、修繕を実施してもらえたことは評価できるが、施設の修繕については市と協議するように努めていただきたい。</p> <p>今後も、予算の状況を見ながら臨機応変に対応していただきたい。</p> |
| 備品管理業務 | A | <p>施設管理上必要な備品を、日本馬事協会の補助金を活用し購入した。既存物品については定期的に点検を行いながら安全に利用するように努め、適切に管理した。</p> | A | <p>馬の暑さ対策用のミスト配管設備や、補助金を活用して防犯カメラを導入するなど、適切に備品の整備ができています。</p> <p>引き続き、備品の適正な購入及び管理をお願いしたい。</p> |

| 課題 | 指定管理者自己評価 | | 市による評価 | |
|------------|-----------|---|--|--|
| 自主事業 | B | <p>自主事業として、コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、10月以降に「のまうまの日（無料体験乗馬）」を実施したが、来園者の利用はなかった。また、野間馬ハイランドのPR及び情報提供のため「のまうま新聞の発行」を行ったが、利用者への大きな増加には至らなかった。</p> | B | <p>コロナ禍において、できる限りの定期的な自主事業の実施により、野間馬のPRに努めている。</p> <p>今後は、感染対策を実施しながら「のまうまの日」の周知に積極的に取り組み、施設の利用者増となるよう努めていただきたい。</p> |
| 地域団体との連携 | A | <p>市内教育機関の遠足や職場体験、地元乃万小学校の総合学習や野間馬クラブの受け入れ、地域清掃活動への積極的な参加や地域活動への場所の提供などを通じて、地域団体と良好な関係が築けた。</p> | A | <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の活動については実施できなかったことは残念であるが、今後も地域との連携が途絶えることのないよう、良好な関係の維持を図っていただきたい。</p> |
| 利用者アンケート | B | <p>アンケート結果については満足いくものであった。利用者の満足度の高い項目については継続できるように努め、また、アンケート結果での利用者からの意見については、施設の維持管理に生かせるよう、日々のミーティングにおいて利用者の満足度向上に向けて取り組み、施設への要望については迅速に対応した。</p> | B | <p>施設に対して好印象であるとするアンケート結果が多く、また改善要望等についてもおおむね対応がなされており、評価できる。</p> <p>今後も、利用者満足度の高水準を維持し、利用者意見については早期対応をお願いしたい。</p> |
| 事故・苦情 | B | <p>子供の不注意によるケガが発生したが、施設側に瑕疵はなく、軽度のケガであった。</p> <p>朝礼、終礼のミーティングにおいて職員同士が気が付いた事を共有し、問い合わせ等についても情報共有し、適切で迅速な対応ができるように努めた。</p> | A | <p>けがは発生したが、施設側に問題はなく、施設を安全に運営できたことは評価できる。</p> <p>万が一の状況を想定し、職員間で適切な対応が取れるよう、引き続き情報共有できる体制の構築に努めていただきたい。</p> |
| 指定管理者の経営状態 | | | <p>会計帳簿等については法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められる。指定管理者の経営状況についても事業収支一覧や経営状況分析指標等から判断した限り、指定管理を安定して行う能力を有していると認められる。</p> | |

総合コメント(市)

指定管理者は、今治市野間馬ハイランド条例及び施行規則並びに業務仕様書に基づき、施設の特性を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務は適正に実施されていると認められた。

令和4年度も前年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の一時休園やちびっこのまうま祭りを中止とするなど、臨機応変に対応した上で、安全・安心な管理運営体制を整えることができたことは評価できる。

今後も、燃料代及び飼料価格等高騰の影響を最小限に抑えながら、施設の適正な管理運営に期待するとともに、市指定文化財である野間馬の種の保存と観光資源としての野間馬の利活用のバランス調整に努めていただきたい。